

正・大岡

年間保存

第126号

2019.4.1

平成に続く？新年度に向けて活動継続の諸準備始る

～大岡地区公共交通推進住民協議会 継続活動中～

長野市大岡 青木 崇様より・北アルプスの絶景 最頂部は鹿島槍ヶ岳

『大岡文化祭』は好天にも恵まれ盛況裏に終了

「大岡地区のバス路線復活を期待して」

「大岡地区公共交通推進住民協議会 継続活動中」

大岡地区公共交通推進住民協議会 事務局 高橋達也

コミュニティ大岡124号で10月26日まで報告されていますが、その後の活動状況をお伝えします。

1 いっしょのあらし

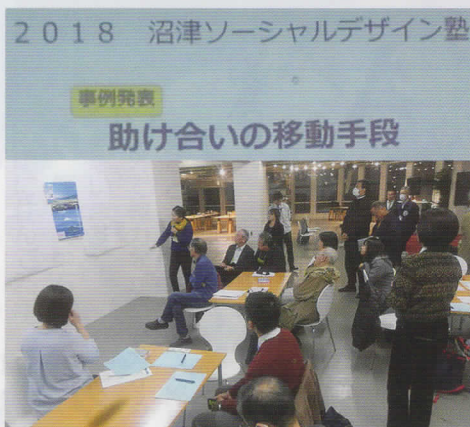
大岡連合自治会では、高齢者をはじめ、障害者、子ども連れの親、雨天時の通勤通学者などを中心に多くの住民が、域内のきめの細かな公共交通の充実を求めています。

特に旧国道1号線と旧国道246号線に挟まれたエリアや木瀬川坂下地区などは住宅密集地であるにもかかわらず公共交通空白地域となっており、積年の課題となっています。

●11月29日、第五回協議会は、沼津市役所交通対策課、早稲田大学井原准教授、伊豆箱根バス津田部長にそれぞれ参加していただき、これまでの「こうあったらいい」という思いの議論にプラスして「経営」的視点で話し合い、実際にかかるであろう

「お金」の話を取り上げたので緊迫した雰囲気でした。

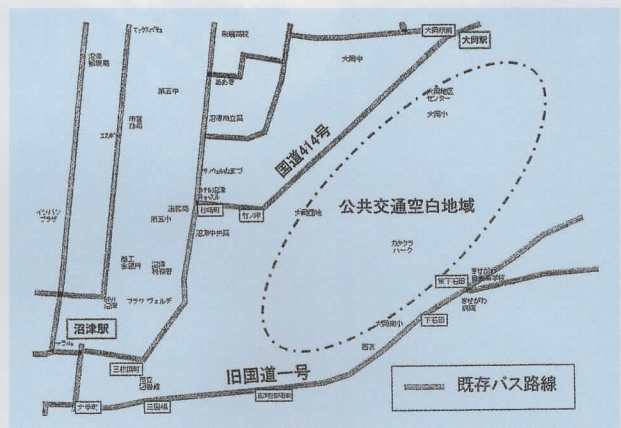
●12月13日、沼津市主催の「第4回ぬまづソーシャルデザイン塾」に協議会メンバーが出席。テーマは「助け合いの移動手段」（地域コミュニティ）であり、認定NPO法人丸子まちづくり協議会理事長の近藤武氏による静岡市丸子での地域住民による公共交通福祉バスの実践について勉強し、グループワークにも参加しました。



2 現在の状況と課題

5回にわたる協議会や現地視察等を経て、地域住民が求める公共交通の姿と内在する課題が見えてきました。この変化を協議会発足の当初から比べると参加者の問題意識が格段に深まり、まさしく地域住民が自分たちの地域の問題を自分事としてとらえ、将来にも責任をもって地域づくりに参加することが本協議会を通して実現できています。

今年度は課題抽出と参加者の意識向上が行われたが、これら出された諸課題、運営形態や事業主体を含め、現実に事業体として見える形に



することを現在の残された課題としたいです。

公共交通の形成に関して、これまで地域にはその姿も議論の蓄積も何もなかったところから始めた協議会であり、今後、さらに住民の合意形成を図っていくためにも、様々な意見を出し合い議論を重ね、それぞれ課題ごとの現実状況分析や最新の事例研究等をさらに重ねていくことが重要です。

尚、来年度は協議会において、路線や対象者、料金等経営プラン、運営主体のあり方などの各論について議論するとともに、参考になる先進事例から工夫の仕方を勉強し、さらに社会実験など住民の皆さんの目に見える形へと事業を継続していかれたらと思います。

また、これらの実現のために3月10日に大手町会館で行われた沼津市「民間支援まちづくりファンド」のプレゼンテーションに参加して、来年度の事業資金獲得を図ろうと提案しました。



平成30年度
大岡寿大学新春放談会

平成31年1月18日(金)

地区センター2F会議室

大岡寿大学新春放談会が、沼津市教育委員会事務局生涯学習課主催で開催され、それぞれ自分の趣味を生かした練習の成果を発表しました。「それぞれの人生を頑張って生きて、このような時間を持てるなんて素晴らしいと思いました」と参加者から感想を頂きました。



新春寿サロン
『楽しい健康教室』

平成31年1月9日(水)

大岡地区センター2F会議室

講師…まちの識者 坪内陽子先生
(日本健康音楽研究会東部支部所属)
参加者…41名

「歌に乗って楽しみながら、頭と体を刺激しながら元気になる体操」

先生より

「無理なく楽しく、自分にあった体操を続ける事が大切です。健康寿命アップを目指して、下半身を大事に。それには正しい姿勢が全ての基本です。」

歌うことで、楽しくなり有酸素運動にもなります。このような場所に出かけて来て、情報交換をすることだけでも大切な事です。」とお話がありました。

参加者は「体が温かくなって軽くなりました。」と、感想を頂きました。



『高齢者と脳の病気』



寿サロン・第3回大岡福祉塾

『高齢者と脳の病気』

講師…きせがわ病院 塚本哲朗 院長
平成31年2月5日(火)

大岡地区センター2F

(参加人数95名)

『フレイル』とは、健康から要介護へ移行する中間の段階と言われています。具体的には、加齢に伴い筋力が衰え、疲れやすくなり家に閉じこもりがちになるなど、年齢を重ねたことで生じやすい衰え全般を指しています。日本では65以上の15%が認知症と言われています。健康な時にフレイルや認知症にならない為に努力する事が大切。そのためには、次のことに心掛けると良い。

- 身体運動・バランスの取れた栄養
- 生活習慣病に気をつける
- 社会参加、地域のボランティア等参加
- サークル活動に参加して脳を刺激する

「無理のない
健康ストレッチ講座」

下石田いきいきふれあいサロンでは、2月17日(日)下石田公会堂にて「無理のない健康ストレッチ講座」が開催されました。

講師は、横山喜久枝先生。イスに座りながらのストレッチと呼吸法を教えていただき、「ご飯・トイレ・お風呂」がいつまでも自分でできるように、無理せず体を動かしましょうと。

講師の楽しい話を聞きながら、ゆっくりと全身運動ができました。講座の後は、お楽しみみのり大会。今年度最後のいきいきサロンは、お花のプレゼントもあり、みなさんに喜んでいただけたと思います。

(下石田 高橋友子)



交通・防災スタンプラリー

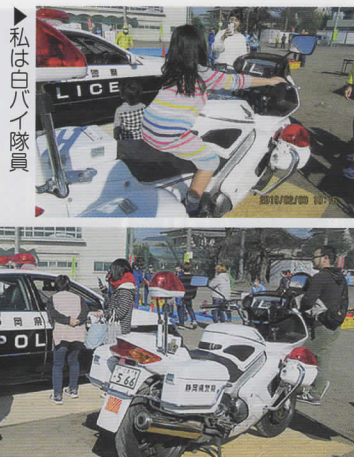
2月3日(日) 9:00~11:30

大岡小学校グラウンド。

①子供用交通安全クイズゲーム



②パトカー白バイの展示



▶私は白バイ隊員



③火災時を想定した煙体験

④水消火器による消火器操作体験



▶怖かったー！



▶水消火器も使えたよ！

⑤消防車の展示



▶僕は消防隊員



参加者からは、パトカーや消防車を間近に、日頃の活動に感謝と、実車に触れて貴重な体験。

「煙体験で、本当の火事ではもっと怖いなーと思った。良い体験ができた」との感想が聞かれました。

物産即売・長野市大岡

地区センター駐車場にて長野市大岡物産即売会が行われ、大量に持ち込んだリングは見事完売でした。その他 ハチミツ・漬物・信州の乾物類などが販売され人気を博し笑顔がたえませんでした。

信州そばの手打ち実演無料試食会も始ると行列ができるほどの人気で、あっと言う間に品切れ。皆さん信州の雰囲気存分に味わっていたようです。



行列ができるそば試食



品切れになったリンゴ



地区センター前の賑わい

2月3日(日)

長野物産展に出店していた長野大岡地区のお母さん達と、民泊でお世話になった沼津大岡中の生徒が店先で再会し、お礼とともに当時の思い出に話が弾んだようです。



逢いに来た大岡中学生たち



売店で忙しく働く長野のお母さん方

農産物販売・南駿農協

大岡支店 農協駐車場にて

2月2日(土) 9時～12時

特別イベントで焼き芋・ふかし芋
無料配布がありました。

毎週土曜日にも行われている「大岡朝市」

厨房で活躍

地区センター厨房

昼飯作りに励んだ
食事ボランティアさんたちソフトバレーボール大会
コミ体育部主管

2月10日(日)

場所：大岡小体育館

「ソフトバレーボール大会」が開催されました。18チーム109人が参加し、3コートで6チームがリーグ戦を行い、コートごとに2チームを表彰。ソフトバレー特有の好プレー、珍プレーが続出。突き指をした人がいたが、大事に至らず、他に大きな怪我も無く無事終了しました。

(体育部 杉山)

DAINAN
わくわくセミナー

第3回「ハーバリウム教室」

11月7日(木) 大岡南小学校図工室にて、石井貴子先生が講師で開催されました。クリスマスイメージしたトルタイプと、ピンクかグリーンで選んだロータイプの2種類のハーバリウムを作りました。瓶の中にイメージ通りに花材を入れていくのはなかなか難しいです。皆さん試行錯誤しながら素敵な作品を仕上げていました。



第4回「親子でDIY」

1月19日(土) 大岡南小学校体育館にて、平成建設さんが講師で開催されました。テーブルカイスで選びDIYします。釘打ちなど普段することのない体験に子供も親も楽しく夢中になっていました。(南小PTA池田)



下石田稲荷神社初午祭

2月10日(日) 下石田公会堂の敷地

にある稲荷神社の初午祭が行われました。日枝神社より宮司さんにお越しいただき、1年間のご祈禱をしてもらいました。

また、子供の健康と幸せを願うお祭りでもあり大岡ではここだけそうです。



正一位稲荷大明神と子供の名まえが書かれた赤・黄・緑・青色の奉納旗(祭りの一週間前に販売)を奉納した子供たちには、お菓子とジュースが配られ甘酒とおしるこも振る舞われました。

(下石田 高橋友子)

大岡中学校 認知症サポーター養成講座

2月5日(火)1年生(178名)を対象に行ないました。

近い将来、2人に1人は認知症になると言われています。地域で認知症の方が安心して暮らす事が出来るよう中学生の皆さんにも支援をして頂きたいと思っています。

初期段階では物忘れや覚えられない事からはじまり、判断力の低下、意識障害、性格障害、またひどくなると歩行困難も起こります。そんな人を見かけたら次のことに注意する。驚かさない・急がせない・自尊心を傷つけないことに注意して接する。前から穏やかに声を掛ける事。」「目線を合せ、はっきりと優しい口調で声かけをする事。」「声かけは一人でする事」などの説明がありました。



オレンジリングを掲げて

地域貢献・世代交流広場会 日吉いきいきクラブ主催

1月26日(土)

当日は子供からお年寄りまで総勢92名の方が集まり輪投げやバールンアート、アクセサリー作り、フリーマーケットや抹茶などの喫茶コーナーも出店されお年寄りから小さな子供まで世代を越えた交流の場となりました。

(日吉 杉山龍太郎)



長野大岡・文化芸能祭に参加

3月3日(日)

長野市大岡の文化芸能祭に、沼津から沼津大岡舞踊の会メンバーを含め役員ほか19名が参加し、同じ会場で熱演し沼津代表として交流を深めた。往復のバス旅も雨の中だったが和気あいあいの楽しいものだった。



防災コーナー

1/2

平成31年度

沼津市消防出初め式における表彰
大岡方面隊関係

☆静岡県消防協会会長表彰

・勤続功労章(10年以上)

第20分団 分団長 秋本豊久(中石田)
第21分団 班長 遠藤章広(北小林)

☆静岡県消防協会駿東支部長表彰

・特別功労章

第21分団 団員 遠藤章広(北小林)
第22分団 分団長 山本一博(上石田)

・功労章

第21分団 団員 松本清司(北小林)

☆沼津市消防団長表彰

・優良団員

第20分団 班長 鈴木貴博(平和郷)
第22分団 団員 渡邊 聖(柏葉尾)
第22分団 団員 西明秀能(南小林)
第22分団 団員 平野竜也(北小林)
・勤続功労章(5年以上)
第21分団 分団長 井上 彰(日吉)
第22分団 団員 鈴木哲矢(南小林)
第22分団 団員 田中教雄(上石田)
第22分団 団員 日吉悠樹(南小林)

HUG・大岡版を手造り!

静岡県危機管理部の開発した「避難所運営ゲーム」は全国的に活用される防災ツールになっています。

大岡地域全員の体験を目指し、避難所運営訓練を行う際、内容をより身近なものに置き換えて「大岡バージョン」として使えるように、人材育成Bグループ「防災」メンバーが「ゲーム内カードの手造り」を進めました。

氏名、地名、など地域に馴染みのあるものとして、場所も地域の避難所そのものを意識できるように、例えば大岡小学校の体育館の地図を用意したり、周辺の利用できる施設、実際の備蓄機材も想定して行えるように準備して見たいと考えました。

3月24日の訓練で試行できるように制作しました。

現状は不完全ですが、知恵を出し合って、もっと各避難所や地域に促した具体性を持たせ、災害発生が予想される事態やイベントを追加し個々の地域に合わせたバージョンをそれぞれ自分たちで工夫を加え作り上げていくことで、訓練の質が向上するものと考えています。

地域の全員参加で防災意識を高めるためのきっかけ造りと受け止められれば幸いです。

防災コーナー

2/2

防火パレード出発式

2月24日(木) 大岡地区センター前

『春の火災予防運動』3月1日(金)～3月7日(木)に先駆けて消防3分団による防火パレード出発式が地域を代表して自治会長他の役員列席のもと行われました。

日頃地道に努力している団員に対し、こんな時、住民がもっと多勢で感謝と励ましの声援を送る場にしたらとの声も聞こえた出発式でした。

今年の標語は

『忘れてない？』

サイフに

スマホに

火の確認』



広報部活動を顧みて 平成30年度

部員の皆さんの年間の活動を通じ、感じたことを述べていただきました。

渡邊 久芳 (副会長・部長)

一番苦手な広報を担当しましたが、多勢の方の協力により、無事？126号まで発行することができました。

杉山龍太郎 (筆頭副部長・日吉)

写真の撮り方、記事の書き方など、地域の行事を伝える難しさを感じましたが、広報部・全員で一年間頑張ることができました。

高野 一雄 (地区社協)

写真の撮り方、文章の構成などこの一年間、色々勉強させていただきました。

石村 ちよ (地区社協)

地域の方々との出会いに感謝！

岩田 景子 (大南小PTA)

最初は戸惑いを感じましたが様々な方と協力してできた広報誌は大変でしたが楽しく、良い経験となりました。

高橋 友子 (下石田)

正直戸惑いましたが、皆さんに助けられ一年間頑張る事ができました。

大嶽 修 (高田)

発信が少なく反省しています。引き続き、高田町内役員として発信出来るよう努力します。

石原 浩史 (大岡団地)

広報誌の発行まで、編集作業の大変さに接することができました。部員として編集作業以外で微力ながら協力することができたかなと思います。

大西 修平 (中石田)

大岡に住んで25年、これまで知らなかった行

事や大岡の良さをあらためて知る機会を得ることが出来、関係者に感謝いたします。

二瓶 祐仁 (大小PTA)

児童や父母の皆様の楽しそうな情景が伝わるような写真や記事になったか心配ですがとても楽しく活動できました。

川口 ゆか (大南小PTA)

大岡地区の活動に参加できた事が良い経験となり、知る良い機会となりました。

堀江真理子 (沼平町)

今年度はタイムリーな取材掲載を目標としてきました。厳しい日程の中、編集委員の方々には大変努力をしていただき感謝しております。

池田 紀子 (大南小PTA)

行事の準備や片付けなど普段目にできないことにも参加し、地域のことを知る良い経験になりました。

鈴木 基之 (副会長・編集長)

年6回のコミュニティ大岡の発行と『壁新聞』を併用し広報に努めました。部員の皆さんに記者として地域の取材に徹するよう協力を仰ぎ、予定を完遂出来たと思います。

印刷所とのやり取りも、メールとデジタルデータで校正の回数も限定し作業の相互理解を深めました。

特にこの一年は大岡連合自治会の活動を印刷所にも認識いただき編集作業に反映させる配慮をいたしました。

部員全員と関係者の協力に感謝し、誌面を目を向ける人が多くなることを願います。

前号・記事 お詫びと訂正

3ページ 写真キャプション下から3段目、左から2番目 長野市とすべきところを『長崎市』としてしまいました。お詫びの上、訂正させていただきます。



連合自治会

発行／大岡コミュニティ推進委員会 編集／広報部

発行責任者／渡邊修司

問合せ／大岡地区センター・事務局 沼津市大岡2357-1 TEL 055-924-0299

発行部数／8,300部

大好き大岡 URL <http://www.e-ohoka.com/>